

花に祝う釈尊降誕

四月八日は、お釈迦さまのご誕生をお祝いする花まつり（降誕会）です。花御堂に安置された誕生仏に甘茶をそそぎ、そのご誕生をお祝いします。お釈迦さまがお生まれになった時、天から甘い雨が降り、花々が咲き誇ったという伝えにちなみ、花で飾った御堂に誕生仏をお祀りします。承天寺では秘仏の誕生仏をこの時期にお祀りしております。右手で天を、左手で地を指し示すお姿は誕生の姿を表し、「天上天下唯我独尊」のお言葉を伝えるものです。これは、すべてのいのちがかかけがえない尊い存在であるという教えです。花に囲まれた仏さまに甘茶をそそぎ、いのちの尊さに思いを寄せ手を合わせましょう。



承天寺 鐘楼と梅

忍野にも春のおとずれ

鐘楼のそばで静かに花開く梅は、長い冬の終わりと春の訪れをそっと知らせてくれるようでした。凜と立つ鐘楼と、やわらかな梅の花が並ぶ風景に、季節がめぐる尊さと自然の恵みをあらためて感じます。境内にも、ようやく春の気配が広がってきました。

合掌